

平成 28 年度文化財保護事業報告

1. 委員会

「清須市文化財保護条例」(平成 17 年 7 月 7 日条例第 85 号)、「清須市文化財保護規則」(平成 17 年 7 月 7 日教育委員会規則第 31 号)に基づいて設置。

- ・文化財保護審議会：年 1 回開催 (平成 29 年 3 月 17 日)

2. 文化財保護

時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

- (1) 文化財の指定：清須市内の指定文化財は国・県・市指定を含めて 33 件。

【清須市内指定文化財等一覧】(資料 3)

※国指定 1、県指定 3、市指定 28、国登録 1 (計 33 件)

- (2) 埋蔵文化財の保護

清須市内には、弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡、清洲城下町遺跡等が存在し清洲地区を中心に埋蔵文化財包蔵地が広く分布している。埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘にかかる届出の受理、発掘調査等の実施等に対応している。

【清須市内の遺跡一覧】(資料 3)

【平成 28 年度】(平成 29 年 3 月 10 日現在)

93 条届出	94 条通知	有無照会	確認調査	発掘調査
111 件	9 件	4 件	5 件	1 件

※93 条届出：民間開発に伴う届出、94 条通知：公共事業に伴う通知

- ① 発掘調査

春日江先 (名古屋市平田住宅西側)：朝日遺跡 28 年度報告書刊行・送付済
(公共下水道雨水管整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査)

本調査地が微高地縁辺部の湿地帯である可能性が高いことがわかった。

- ② 清洲城下町遺跡柿経保存処理

25 年度より実施。本年度は約 123 片を処理。29 年度で予定片数の約 700 片 (総数) の保存処理が完了するとともに、また報告書を作成する予定。

(国庫補助減額により事業縮小 → 当初の 4 カ年計画を 5 カ年計画に)

3. 啓発活動

生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産 (埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等) の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

- (1) 歴史資料展示室における資料の公開

清須市立図書館内歴史資料展示室において、市の歴史を概観できる常設コーナー

と、より深いテーマ性をもつ展示を行う企画コーナーを設け、市民に親しみの持てるわかりやすい展示をめざす。

① 企画展「懐古 清洲花火館 - 往時を物語る道具たち -」

- ・会 期 平成28年4月9日（土）～9月4日（日）
- ・展示内容 江戸時代後期から昭和初期にかけて、様々な原料を調合して、花火玉を作り、打ち上げた花火師たちの道具等を、清須市が所蔵している古文書や民具資料を中心に展示した。
- ・入室者数 6,871名

② 企画展「川と暮らし - 清須三川と共に生きる -」

- ・会 期 平成28年9月17日（土）～12月25日（日）
- ・展示内容 江戸時代後期から昭和にかけての川とくらしの営みを清須市が所蔵している古文書や民具資料を中心に展示した。
- ・入室者数 4,258名

③ 企画展「昭和の子どもたち - 育ちと玩具を通して -」

- ・会 期 平成29年1月14日（土）～平成29年3月26日（日）
- ・展示内容 清須市が所蔵する歴史資料の中から、昭和の戦前・戦後にかけての玩具類に関する資料を展示した。
- ・入室者数 2,517名（平成29年2月末現在）

(2) 文化財講座・講演会

① 文化財講座

- ・会 場 清洲市民センター3階302視聴覚室
- ・受講者数 延べ124名

回	月/日	受講数	内容	講師（敬称略）
1	5/26 (木)	34	弥生への旅 朝日遺跡	県埋蔵文化財センター センター長兼調査課長 宮腰健司
2	6/23 (木)	32	幕末の清洲における農兵取り立てについて	名城大学 非常勤講師 長屋 隆幸
3	8/4 (木)	30	古文書からみる宿場町 ～清洲宿を中心に～	岐阜女子大学 常勤講師 辻 公子
4	8/25 (木)	28	環境と文化と住まい ～古代エジプト文明の住居を探る～	北名古屋歴史民俗資料館 学芸員 伊藤 明良

② 文化財講演会

- ・講演名 「弥生時代の織物と女性」
- ・講師 東村 純子 氏（福井大学講師）
- ・期 日 平成28年11月3日（祝）
- ・会 場 清洲市民センター 2階 集会室

- ・参加者数 44名
- ・内 容 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館の企画展「弥生のアクセサリー」にちなみ、弥生時代の女性の暮らしと糸づくり、機織りに関する講和。

(3) 市内文化財めぐり

市内の文化財を巡る実地見学を行った。愛知県清洲貝殻山貝塚資料館を中心に北名古屋市歴史民俗資料館をめぐった。

- ・期 日 平成28年11月17日（木）
- ・参加者数 25名

(4) 文化財関係刊行物の販売

生涯学習課と西枇杷島問屋記念館にて刊行物の販売を行なっている。

【文化財関係刊行物一覧】（資料3）

(5) 歴史文化振興事業

平成19年度に新川町史編さん事業終了後、清須市で所蔵する資料の調査・整理作業を継続して行っている他、歴史資料展示室の企画・運営等を行っている。

4. 施設管理・運営

各方面からの寄贈により収集された貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

◎ 西枇杷島問屋記念館

- ・名 称 清須市西枇杷島問屋記念館
- ・所 在 地 清須市西枇杷島町西六軒20
- ・面 積 敷地面積 1,391.55㎡ 延床面積 151.62㎡
主 屋 98.82㎡ 離 れ 52.80㎡
- ・構 造 木造2階建
- ・開 館 平成5年4月
- ・概 要 「下小田井の市」の創始者の一人といわれる九左衛門家の住居を、平成4（1992）年に、移築復元したもの。明治初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家のなかでも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物。
- ・開館日数 304日（62日休館）
- ・入場者数 3,846名（2月末日現在）

5. 指定文化財補助

市指定文化財（個人等管理）に対し、修理・管理・公開について補助を行った。

- (1) 修理費補助 有形民俗文化財（山車） 2件

- (2) 管理費補助 ① 有形文化財 7件
② 有形民俗文化財（山車） 6件 計13件
- (3) 公開費補助 有形民俗文化財（山車） 7件
(尾張西枇杷島まつり 5件、愛知山車祭り保存協議会総会 2件)

(4) 文化財関連団体

○ 西枇杷島町山車保存会

- ・目的 西枇杷島に所在する山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行を図る。
- ・役員 会長 箕浦信夫 副会長・会計他
- ・会員等 橋詰町、問屋町、東六軒町、西六軒町、杵西町の町内会会員
- ・主事業 尾張西枇杷島まつりにおける山車運行他